

# 又三言

## 来年着工

市を建設候補地とする。新工場が稼働すれば、生産能力は現況の3倍となる。循環器系慢性疾患治療薬などの後発薬の原薬を製造する。

国内の後発薬市場は、国の医療費抑制策を追い風に拡大している。日医工は11年連続で売上高を伸ばしており、早期の売上高1千億円達成を目標している。

も予定され、知事は「県内の生産拠点を大事にしてもらいたい」と増やしてほしい」と述べた。

田村社長は「富山では経口剤を主体に生産能力を上げていきたい」とした上で「今後数年の中で海外に生産拠点を持たたい思いもある。ある程度インフラが整ったタイを考えているが、まずは市場を勉強したい」と話した。

直通無料電話を設置するケースは、1クに向け4月中にも編

## 創立60周年祝う 第一交易



記念式典であいさつする西能社長(右)＝南砺市苗島

建設業の第一交易は22日、南砺市苗島(福野)の本店で、創立60周年記念式典を開き、さらなる発展を誓った。

西能徹社長が社員約40人前に、キャッチフレーズの「forthefirst」を合

言葉に「お客さんあっての第一交易。心を一つに前へ進んでいこう」とあいさつ。父の西能政会長と株主代表の西能紀元副会長が思い出を振り返った。

節目を機に社のマークを一

新し、イメージカラーは芽生えの意味を入れた若苗色に変更した。デザインを手掛けた島津環境グラフィック(富山市)の島津勝弘社長が記念講演した。

第一交易は1952年に西能社長の祖父、正義さんが創業した。現在、主体の内装仕上げ分野では北陸トップクラスの施工量がある。

3月24日には砺波ロイヤルホテルで協力会社や主要仕入れ先を招いた記念式典を予定している。

## 地場産品の海外販路開拓を支援

高岡で商談セミナー 県内の地場産品の海外販路開拓を支援しようと、シエ

口常 ン交 化セ 商談 必要 円高 方法